

おらほの会社

(株)自然科学調査事務所 の巻



嵯峨 智広

模に合わせた社屋と駐車場を整備し事業の効率化を図っています。



本本社屋

《はじめに》

株式会社自然科学調査事務所工務部の嵯峨と申します。今回、「おらほの会社」というタイトルで弊社を紹介させていただきます。

《会社の概要》

おらほの会社の沿革と概要は以下のとおりです。

【沿革】

昭和52年7月	大曲市若竹町(現 大仙市若竹町)に創立 地質・土質調査部門、地下水・温泉開発部門 設立 資本金250万円
昭和56年1月	大曲市田町(現 大仙市大曲田町)に移転
昭和56年6月	さく井工事の知事許可
平成元年6月	資本金増資 払込資本金 1000万円
平成2年11月	地質調査業の大臣登録
平成3年12月	測量業の大臣登録
平成9年7月	建設コンサルタントの大臣登録
平成14年1月	土壤汚染対策法調査機関の大臣指定
平成14年3月	資本金増資 払込資本金 2000万円
平成19年1月	現在地に移転
平成19年10月	補償コンサルタントの大臣登録
平成20年11月	資本金増資 払込資本金 2500万円

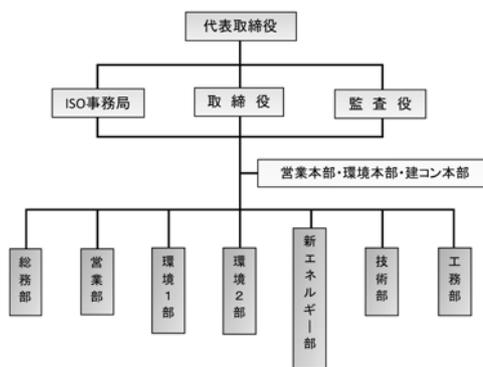
【概要】

昭和52(1977)年7月に会社を立ち上げ土質試験と地質調査の報告書とりまとめを主な業務として先輩各社から仕事を頂き、細々と始めた会社も満38年を経過しました。仕事は地質・土質調査から地下水や温泉開発、各種建設コンサルタント業務、土壤汚染調査、環境関連業務へと進み、難易度の高いアセスメント業務へと事業拡大を図り、最近では陸上・洋上を問わず、風力発電のアセスメント業務を手がけるようになりました。

この間、本社は当初の大曲中学校前から、田町、そして現在地へと移転し、規

《部門と業務内容》

会社は次のような部門で構成し、それぞれ必要な能力に見合った人員を配置していますが、仕事量や技術力のバランスは毎年異なるため苦勞しながらやりくりをしています。



会社の組織図

《各部門の業務内容》

技術部: 主として地質・土質調査、地下水調査、地すべり調査、土壤汚染調査、温泉探査、測量、建設コンサルタント業務を行っています。

工務部: さく井工事、温泉工事、地すべり対策工事、消雪・融雪工事等を行っています。

環境1部、2部: 種々の環境調査や地

域貢献活動を行っています。

新エネルギー部: 主として風力発電事業等新エネルギー関連の調査や環境アセスメント業務を行っています。

《会社所在地》

会社は大仙市戸蒔字谷地添 102-1 で、谷地という地名の通り GL-20m 前後までは軟弱な粘性土が堆積しており、現社屋周辺の盛土部は約 20 年を経ても地盤沈下が収束しておらず、毎年のように修繕を繰り返しています。しかしこの点を除けば、交通条件は良く、大曲駅や大曲 IC まで 10 分 (いずれも車)、新幹線は約 1 時間毎に停車し秋田まで 30 分、仙台までは 2 時間弱、東京まで 3 時間 15 分と利便性が良く、地方都市ながら周辺からの一極集中現象が顕著で、各種医院やスーパー、アパート等が年を追って増加し、当然のことながら小中学生が非常に多く人口動態を押し上げています。

《会社のロゴマークについて》



SHIZEN KAGAKU

会社のロゴマーク

会社のロゴマークは、上部に丸い地球を構成する緑の大地と樹林、下部に青い

海を泳ぐ魚たち、その中心に朱点で日本を表し、自然環境豊かな地球を保全し私達の子孫に受け継ぐこと、そして持続可能な社会に向かって一丸となって実行することをイメージしたものです。

《大仙市の紹介》

【概要】

株式会社自然科学調査事務所のある秋田県大仙市は、平成 17 年 3 月 22 日に、大曲仙北地域の 8 市町村が合併し誕生した市で、東京 23 区より広い面積を有します。

県中央部に広がる出羽山地から横手盆地北部の仙北平野、さらに奥羽山脈の真昼山地までの広範囲にわたって位置しているため、8 つの地域ごとに多種多様な分化や自然を楽しむことができます。

中でも、ここ大曲地区は市の中心部であり、大仙市役所本庁が置かれ、国や県の各行政出先機関や、地域の主要な道路と鉄道が集中しています。

尚、「大仙」の由来は、「大曲市」と「仙北郡」のそれぞれの頭文字をとったものです。

市全体が豪雪地帯であり、特に旧協和町地域は特別豪雪地帯に指定されています。

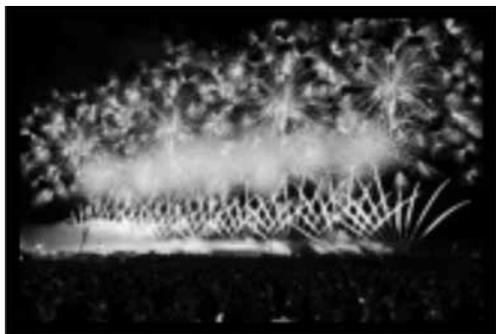
《大曲の花火について》

毎年 8 月の第 4 土曜日には、雄物川河川敷運動公園にて「全国花火競技大会」が行われ、全国各地から約 70 万人を超える人々が訪れます。

1910 年 (明治 43 年) に「第一回奥羽六県煙火共進会」が開催されたのが始ま

りとされ、1915年（大正4年）に「全国花火競技大会」と名前を変え、全国規模の大会となりました。1964年（昭和39年）に創造花火が生み出され、今年（平成28年）で90回目の開催となります。

日本三大花火大会の1つであるこの花火大会は、日本で唯一の昼花火の競技大会でもあります。内閣総理大臣賞があるのは大曲と土浦の大会だけです。尚、2017年4月には世界の花火シンポジウム開催も決定しております。ぜひ一度足を運んでみてください。



全国花火競技大会